



職業安定局高齢・障害者雇用対策部
高齢者雇用事業室就業対策第2係

坂上 一也

(平成 17 年採用)

**「いっしょに職業安定行政を
よりよくしていきましょう。」**

安定行政に興味を持たれた皆様こんにちは。

私は、平成17年4月に北海道の労働局で採用され、5年間ハローワーク及び

労働局で、雇用保険業務及び会計を担当した後、平成22年4月より現在の部署で働いております。安定行政といえばハローワークの職業紹介や失業保険(雇用保険)を思い浮かべる方がほとんどだと思いますが、そういった業務以外にも様々な業務があり、その一つに私が従事している高齢者雇用対策があります。超高速で進む高齢化社会の対応するために、高齢者の雇用促進、高齢者のニーズに応えた多種多様な就業体系を提供できる環境を整備する等の業務になります。一見ハローワークと無縁の業務に見えますが、密に連携していくことが必要な事業とも言えます。高齢者やハローワーク等との橋渡し役も担っております。

また、仕事の話ではありませんが、私は2児の父でもあり、小さな子どもを抱えるが故に仕事を急遽休まなけれ

ばいけないこともあります。しかし、理解ある上司にも恵まれ、休暇や早期退庁など配慮して頂いており、仕事に育児に毎日有意義に過ごしております。

みなさんも職業を決める大切な時期で悩まれているかとは思いますが、これからの人生を左右する職業選びですので慎重にたくさん悩んで選択して下さい。その選択で職業安定行政で働かれる方が出てこれれば、一緒に働いてよりよい職業安定行政を目指して頑張りましょう。



職業安定局雇用政策課
調査係(係員)

竹谷 真美

(平成 19 年採用)

「働くことのために働ける！」

職業安定行政に興味をお持ちのみなさま、はじめまして。

大変な就職難を経験している皆様だからこそ、この仕事に興味を持たれ、今このパンフレットをご覧になっているのではないのでしょうか。私が就職した時代はニート問題が取り上げられ、それをきっかけに「働く」に興味をもちました。

入省してからは、大臣官房会計課、職業能力開発局育成支援課、ハローワークでの地方研修を経て、現在の職業安定局雇用政策課に着任しました。

地方研修では、ハローワークは単に仕事を紹介するだけでなく、それ以上の様々なサービスを提供するために切磋琢磨していることを知りました。ある日、求職者の方に「日本は自分たちがその気になれば、勉強もさせてくれる。捨てたものじゃない。」とお言葉をいただき、この仕事の大きさを改めて感じました。本省では直接利用者の方に触れる機会は少ないのですが、本省でやってきた仕事が全国のハローワークが動かし、ひいては1人1人の求職者の方々の力になれるか、ハローワークを有意義な場所にできるかに直結していることを実感しました。

私は今でもハローワークに足を運びます。みなさまも是非一度行ってみてください。漠然としたイメージが実体化され、見えてくるものがあると思います。

また、在任中の職業安定局雇用政策課では、主に有効求人倍率を公表しています。学生の方はまだ馴染みのない数字かもしれませんが、ハローワークに來られている求職者の方にどれだけの仕事があるのか示す大切な数字です。自分のした仕事が新聞やテレビなどに取り上げられるのもやりがいの1つです。

「働く」という生活に密着した大事な問題に携わっていける「職業安定行政」の存在意義は大きく、魅力的な仕事だと感じています。毎日の社会情勢にも興味をもち、向上心をもって、成長し続けられる仕事です。

みなさまと一緒に「働く」日を楽しみにしています。

